

親子聖書日課

NO.1498 2017.6/11-17 名前

[日]当時、ペトロが異邦人と交わっていると非難する人がいました。その時、ペトロは「事の次第を順序正しく説明し始めた」のです。これが功を奏して偏見が取り除かれました。人を導くためにも、福音を順序正しく説明することが大切です。

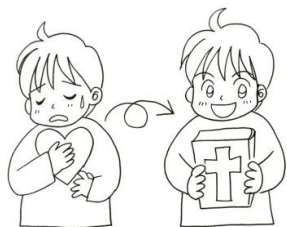
[月]「クリスチャン」という名の起源は「キリスト」というギリシャ語「キリストス」に、ラテン語の語尾がついたもので、元々はあだ名でした。朝から晩まで主の名を唱え、キリスト一辺倒に生きたので、「キリスト野郎」と陰口を叩かれたのです。

[火]どうしたらペトロを助け出せるか、と教会に集まって救出作戦を練ったのではありません。ただ「熱心に祈った」のです。その祈りがペトロを助け出しました。祈りには万事を益に変える力があります。祈禱会に出席して祈り合いましょう。

[水]世界宣教の出発は、人間の計画でも協議を重ねた結果でもありません。ただ聖霊によって命じられ、聖霊によって送り出されたのです。礼拝の中で、主は救いの計画と目標を示して下さいます。世界宣教の第一歩は、礼拝からです。

[木]人は約束をよく破りますが、神は違えます。約束した通り、ダビデから千年後に、救い主イエスを送って下さいました。神の約束は、外れはありません。但し、神の約束が実現するには「神を畏れる」神第一の生き方が求められています。

[金]福音の中心は、主の誕生と教えにあるのではなく、主の十字架と復活にあります。そこに罪の赦しと義があるからです。私達は、福音の中心を語っているでしょうか。「兄弟たち、知って頂きたい」と、この一事だけを喜びをもって語りましょう。



[土]救いの言葉は、まずユダヤ人に語られましたが、彼らはその言葉を拒みました。それ故、「自分自身を永遠の命を得るに値しない者」にしてしまいました。永遠の命を放棄しないために、御言葉に従うことを拒んではいけません。いつもハイ主よ!

	聖書	問題	答え
日	使徒言行録 11:1-18	ペトロは事の次第を、どのように説明し始めましたか。	
月	11:19-30	アンティオキアで弟子達は初めて何と呼ばれるようになりましたか。	
火	12:1-19	教会ではペトロのために、何が神にささげられましたか。	
水	12:20- 13:12	何によって、バルナバとサウロは送り出されましたか。	
木	13:13-25	神は何に従って、イスラエルに救い主を送って下さいましたか。	
金	13:26-43	信じる者は皆、この方によってどうされるのですか。	
土	13:44- 14:7	永遠の命を得るよう定められている人は皆何に入りますか。	
感想と祈りの課題			